

記者発表について

- 1．発表日時 平成17年8月22日（月） 午後2時 から 午後3時15分
- 2．発表場所 理学系研究科 化学専攻 化学本館5階会議室
- 3．発表内容 21世紀COEプログラム「動的分子論に立脚したフロンティア基礎化学」におけるサマースクールの開催について
- 4．発表者 岩澤康裕 理学系研究科化学専攻 教授 COE拠点リーダー
加藤隆史 工学系研究科化学生命工学専攻 教授 マーシャル実行委員長
長谷川哲也 理学系研究科化学専攻 教授 マーシャル実行委員
守山雅也 工学系研究科化学生命工学専攻 講師 マーシャル実行委員
- 5．発表の概要 別紙
- 6．問合せ先 化学専攻事務室 T e l : 0 3 - 5 8 4 1 - 4 3 2 6

21世紀COEプログラム
「動的分子論に立脚したフロンティア基礎化学」
東京大学大学院理学系研究科化学専攻

プレス会見

21世紀COEプログラム
第1回サマースクール (FrontChem2005) の開催

会場： 化学本館 5階会議室

日時： 平成17年8月22日(月) 午後2時から午後3時15分

連絡先： 化学専攻事務室 (Tel: 03-5841-4326)

内容：

当21世紀COEプログラムでは、博士課程の大学院生を中心とする若手研究者が将来を支える教育者・研究者となるためには、国際レベルでの人材育成が必要不可欠であると考え、これまで国際化対応化学英語教育として、化学英語演習などを行ってきました。これらの一環の新たな試みとして、来る8月25日 - 27日の3日間、湘南国際村センター(神奈川県三浦郡葉山町)にてサマースクールを開催する運びとなりました。すべての分野の大学院生にとって有意義な内容となるように、講義・講演を海外、国内の一流の先生にお願いし、かつ、インタラクティブな実習・ポスター発表を企画しました。また、米・欧・アジアより優秀な大学院生十数名を招待し、共に学び討論する場を提供することによって、国際レベルで活躍する人材の育成を目的とします。当日は資料をもとに本COEサマースクールの意義、内容などの詳細についてご説明いたしますので、是非、ご参集くださいますようお願い申し上げます。

21世紀COEプログラム

拠点リーダー

岩澤康裕

サマースクール実行委員長 加藤隆史

Tokyo Summer School on Frontier Chemistry 2005 (FrontChem2005) Challenge in Functional Molecular Science

21世紀COEプログラム 動的分子論に立脚したフロンティア基礎化学 サマースクール —分子機能への挑戦—

趣旨： 当21世紀COEプログラムでは、博士課程の大学院生を中心とする若手研究者が将来を支える教育者・研究者となるためには、国際レベルでの人材育成が必要不可欠であると考え、これまで国際化対応化学英語教育として、化学英語演習などを行ってきました。本COEサマースクールは、これらの一環として、すべての分野の大学院生にとって有意義な内容となるように企画されたものです。講義・講演を一流の先生にお願いし、かつ、インタラクティブな実習・ポスター発表を用意しました。また、米・欧・アジアより優秀な大学院生十数名を招待し、共に学び討論する場を提供することによって、国際レベルで活躍する人材の育成を目的としています。

日時： 2005年8月25日(木)～8月27日(土) (2泊3日)

場所： 湘南国際村センター (神奈川県三浦郡葉山町)

使用言語： 英語

内容：

(1) 大学院講義

諸熊 奎治 先生 (エモリー大学, 分子の電子状態およびそれに関連するダイナミクス に関する基礎講義)

(2) 招待講演 (最新トピックス講義)

福山 透 先生(東大院薬, 天然物合成化学)

鈴木 俊法 先生(理研, 化学反応・ダイナミクス),

Colin Nuckolls 先生(コロンビア大学, 材料化学)

後藤 敬 助教授(東大院理, 有機化学),

田中 健太郎 助教授(東大院理, 無機化学)

(3) プレゼンテーション学 講義・実習

Tom Gally 先生

(4) 大学院生参加者によるポスター発表